

V. 特記事項

1. 子どものためのミュージカル「ぷりてい劇場」

保育科の表現系の学びの集大成として毎年行っている子どものためのミュージカル「ぷりてい劇場」は、令和5(2023)年度で第48回目となる。当初は学内で「幼児のためのオペレッタ」公演として実施されていたが、開学15周年を記念して昭和51(1976)年から学外で実施されるようになり、昭和54(1979)年度には札幌市民劇場に選定され、札幌市民芸術祭奨励賞を受賞している。

平成3(1991)年には、開学30周年記念を機に札幌市こどもの劇場やまびこ座で公演を行い、現在に至っている。

現在は、「総合表現」を始めとする表現系の科目を中心に準備を重ね、教員の指導を受けながら、幼児向けの作品に題材を得て学生が脚本を執筆し、作詞作曲を行うとともに、大道具・小道具・衣装の制作、演出までを手がけ、大学構内で学生主体のミュージカル制作を行っている。

学生はこのミュージカル制作をとおして、責任感・協調性・表現力・人前に立つスキル・応用力など多くのことを学ぶ良い機会となっており、保育科として大変重要な行事となっている。令和5(2023)年度は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い人数制限をなくし、札幌大谷大学附属幼稚園の園児と、同じ札幌市東区にある認定こども園の園児を招待して学内で2日間公演を行った。令和7(2025)年度には、50回公演となることから、以前のように地域の子どもたちに周知し、本学の教育・研究の成果を地域に還元できるよう活動を推進する。



2. 同窓会「真心会(しんしんかい)」

札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部(以下「本学」という。)の同窓会は、昭和38(1963)年、当時の札幌大谷短期大学の同窓会として保育科1期生会員38人から発足した。昭和41(1966)年に音楽科同窓会「谷の音会」と美術科同窓会「谷の会」を、昭和52(1977)年に保育科同窓会「華の会」をそれぞれ結成し、平成24(2012)年、大学の開学に伴い、それぞれの会を解散し、現在は卒業生15,000人を超える「真心会」として統合され活動している。「真心会」という呼称には、「真実の心を持って生きる事を促す」という願いが込められている。「真心会」の目的は、「相互の親睦、資質の向上をはかり、母校の発展に寄与すること」とし、その目的を達成するために昨今の活動として令和5(2023)年度に同窓会設立60周年記念懇親会を開催し、令和7(2025)年度には第2回「ホームカミングディ」を予定している。「真心会」は各支部においても活動しており、令和4(2022)年度に釧路支部では「釧路支部設立35周年記念外山啓介ピアノリサイタル」を開催し、地域社会へ貢献している。

以上のことから、「真心会」の活動は、本学の発展及び北海道の地域貢献に大きく寄与している。